

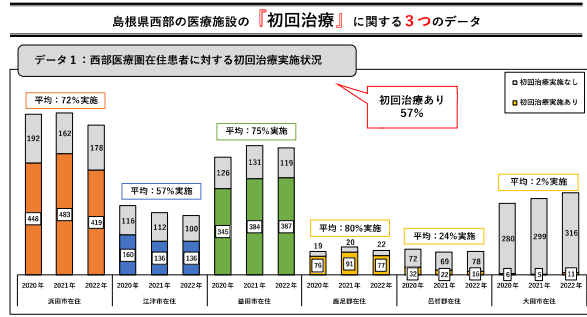
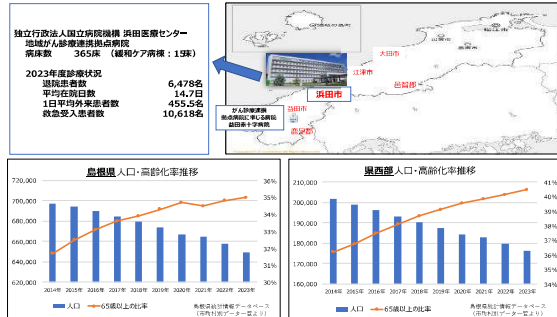
演題番号: P2-3



島根県西部医療圏域におけるがん診療の現状と当院の役割

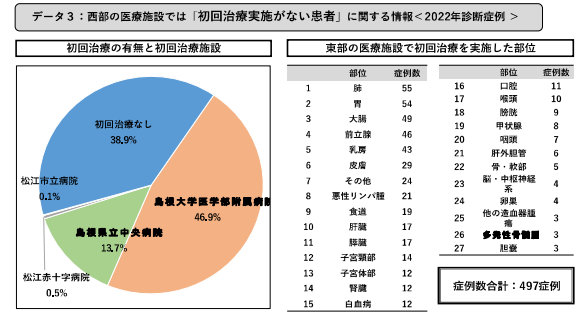
独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター

診療情報管理室 田中和子 大野亜里沙 佐々木夏美

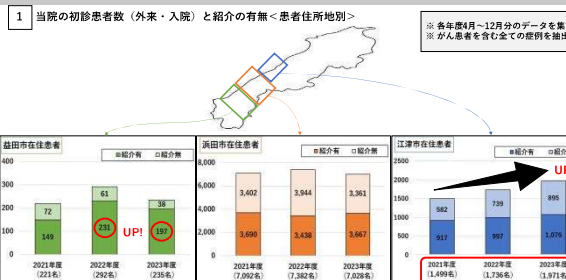


データ2: 西部医療圏在住患者に対する「部位別」の初回治療実施状況 < 2022年診断症例 >

部位	浜田市在住	江津市在住	益田市在住	鹿足郡在住	邑智郡在住	大田市在住	合計
口腔	2	0	0	0	0	1	3
食道	7	4	9	1	3	1	26
大腸	77	31	108	18	3	240	3
肝臓	12	2	11	3	1	0	29
肺臓	2	1	2	0	0	0	5
肝外胆管	6	0	3	1	1	0	11
膵臓	19	6	7	3	0	0	35
結腸	5	11	34	5	2	1	103
直腸	6	1	3	0	0	1	11
他の消化器腫瘍	9	5	3	0	0	1	18
骨	11	4	11	2	0	0	28
骨・軟部	1	0	0	0	0	0	1
乳腺	37	18	40	8	2	106	2
子宮体部	5	2	5	1	1	0	17
子宮体部	6	0	2	0	0	0	8
卵巣	5	1	1	0	0	0	8
前立腺	39	8	26	8	0	1	82
腎臓	3	0	2	2	0	0	7
膀胱	17	7	15	7	0	0	46
腎・中腎神経系	6	1	3	0	0	0	10
甲状腺	0	0	3	1	0	0	4
悪性リンパ腫	16	8	12	1	2	0	39
多発性骨腫瘍	1	1	4	0	0	0	6
その他	17	4	14	1	0	0	36
合計	419	136	387	77	16	11	1046



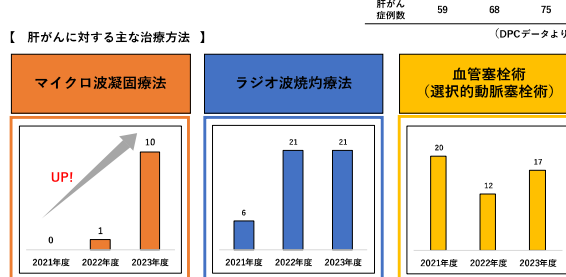
「紹介患者の動向」から考える当院が担うべき役割の拡大



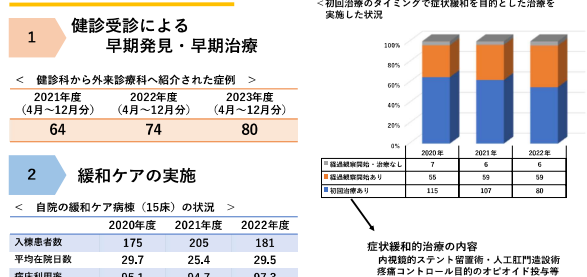
2 近隣の総合病院との連携



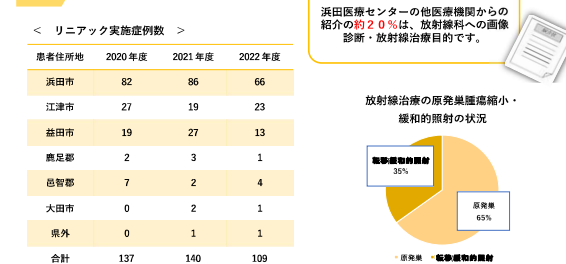
肝がん症例の増加 ～医師の確保に伴う効果～



当院のがん診療の特性



3 リニアック治療の実施



【まとめ】

- ・院内がん登録データを使った検証で、島根県西部の医療施設における県西部在住者の初回治療に携わった比率は、57%であった。血液腫瘍・皮膚腫瘍等、県西部で常勤医師の確保が難しい状況もあり、今後さらに東部からの医師の応援・速やかな診療情報共有等が必要となっていく。
 - ・がん診療連携拠点病院として、がんの診断・治療等の情報をホームページで地域に発信するとともに、自院の強みでもある、健診・放射線治療・緩和ケアについても各部門と連携して情報発信することで、患者確保にもつながっていく。
 - ・今回初めて学術集会に参加し、発表に挑戦した。がん登録データを分析し、活用することによって、話し合いが中断してしまうこともあったが、自院の強みやPCデータを使用して分析する方向性が見えたことで、まとめることができた。今後も色々な診療情報を組み合わせながらがん診療の分析をしていきたい。
- ご清聴ありがとうございました